

無線 LAN  
JRL-710/720 シリーズ  
ファームウェアバージョンアップマニュアル  
＜第 2.1 版＞



**JRC** 日本無線株式会社

<http://www.jrc.co.jp>

# 目次

- 1. バージョンアップを行う前に ..... 1
  - 1.1. 用意するもの ..... 1
  - 1.2. 接続の確認 ..... 1
- 2. バージョンアップ手順 ..... 4
  - 2.1. 【手順 1】 ..... 6
  - 2.2. 【手順 2】 ..... 8
  - 2.3. 【手順 3】 ..... 11

本書は、無線 LAN JRL-710/720 シリーズ（以下「無線 LAN」とします）のファームウェアをバージョンアップするための操作マニュアルです。

## 1. バージョンアップを行う前に

### 1.1. 用意するもの

- 作業用 PC（Windows XP / 2000，ネットワーク I/F あり，VB スクリプト実行可能）
- バージョンアップ用ファイル

（「releasexxxx.exe」の名称の圧縮ファイルを展開すると下記ファイル構成となります）

[update_init] (フォルダ)	
jrl-710_system.bin	本書の手順では使用しません
put.cmd	
start.bat	
update.vbs	
[update_new] (フォルダ)	
jrl-710_2nd.bin	本書の手順で使用します
jrl-710_file1.bin	
jrl-710_system.bin	
put.cmd	
start.bat	
update.vbs	

### 1.2. 接続の確認

ファームウェアのバージョンアップを開始する前に、無線 LAN と作業用 PC がネットワークに接続され、通信できることを確認してください。

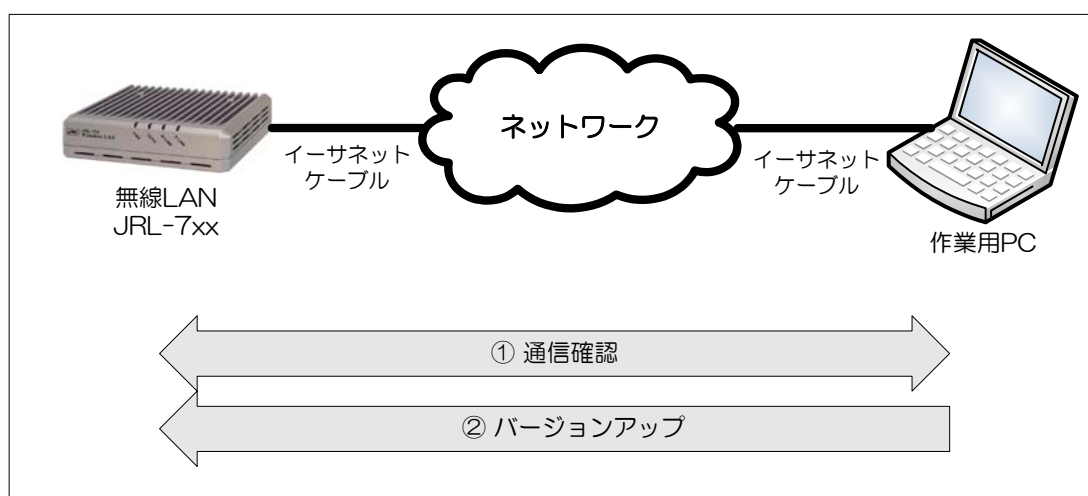


図 1 接続例

### ■ 通信確認

作業用 PC のコマンドプロンプトから「ping コマンド」を実行し、無線 LAN と正しく通信できることを確認してください。

コマンドプロンプトの起動は次の通りです。

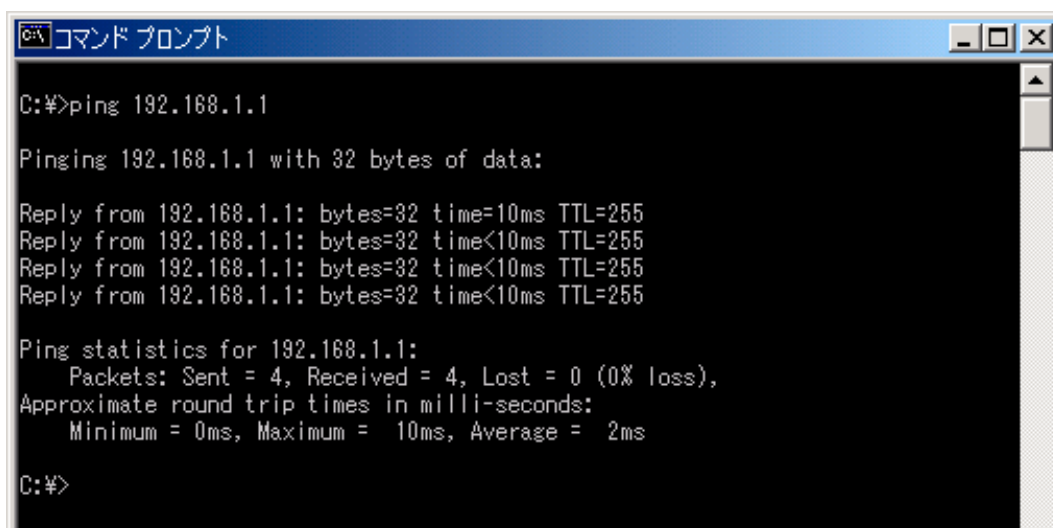
- Windows 2000 の場合  
[スタート] メニューから [プログラム (P)] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を選択してください。
- Windows XP の場合  
[スタート] メニューから [すべてのプログラム (P)] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を選択してください。

無線 LAN の IP アドレスが「192.168.1.1」の場合、作業用 PC の IP アドレスを「192.168.1.xxx (xxx は 1 以外)」に設定してください。

コマンドプロンプト画面で “ping 192.168.1.1” と入力してください。

※ 「192.168.1.1」は無線 LAN のデフォルト IP アドレスです。IP アドレスを変更している場合は、適宜読みかえてください。

正しく通信できると、図 2 のような応答が表示されます。



```
C:\>ping 192.168.1.1

Pinging 192.168.1.1 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time=10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<10ms TTL=255
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<10ms TTL=255

Ping statistics for 192.168.1.1:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
        Minimum = 0ms, Maximum = 10ms, Average = 2ms

C:\>
```

図 2 ping による通信確認—正しく通信できる場合

正しく通信できない場合、図 3 および図 4 のような応答が表示されます。

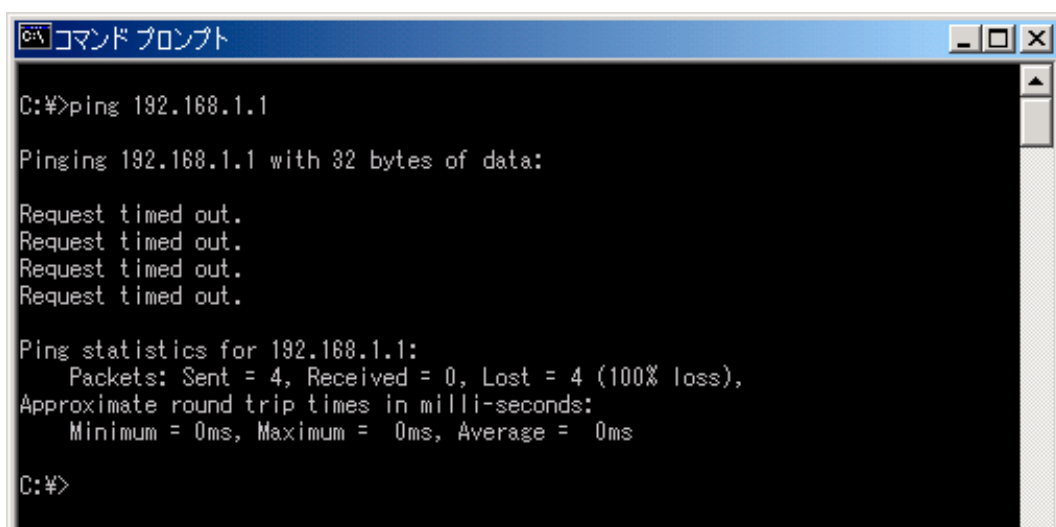


図 3 ping による通信確認—正しく通信できない場合（その 1）

図 3 の表示の場合はイーサネットケーブルが正しく接続されているか確認してください。

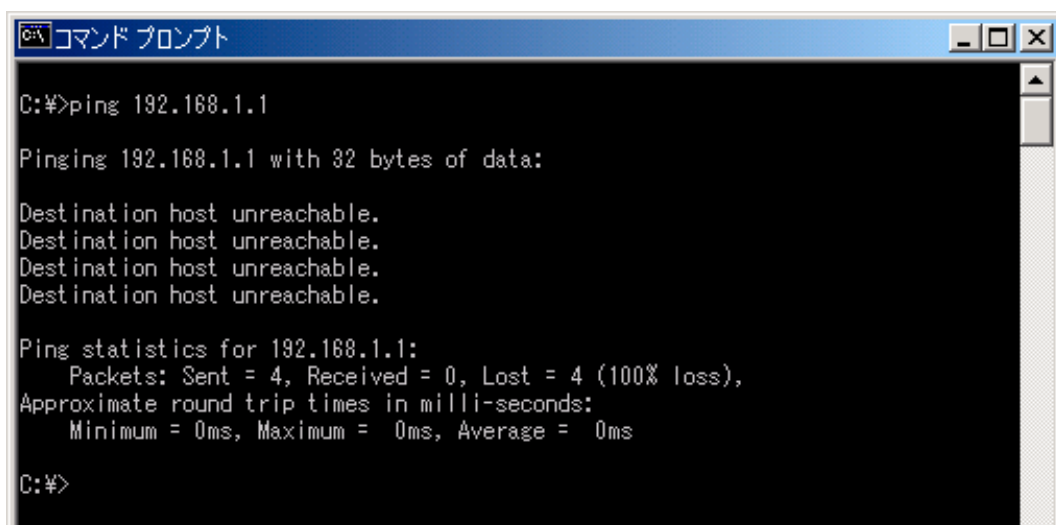


図 4 ping による通信確認—正しく通信できない場合（その 2）

図 4 の表示の場合は無線 LAN と作業用 PC の IP アドレスが正しく設定されているか確認してください。

正しく通信できない場合は、無線 LAN の「E-LINK」ランプの状態やコンピュータの IP アドレス等を確認してください。

## 2. バージョンアップ手順

無線 LAN のファームウェアをバージョンアップするためには、初期化モードと呼ばれる専用動作で無線 LAN を再起動する必要があります。初期化モードは release0302 以降のバージョンのファームウェアから起動可能となっています。

### [注意]

バージョンアップする対象の無線 LAN で既に動作しているファームウェアが release0302 より前のバージョンの場合、「JRL-710/720 バージョンアップマニュアル 第1版」の手順に従ってください。

### [バージョンアップに伴う設定パラメータの引き継ぎに関して]

#### ■ release0441 以降のバージョン

すべての設定パラメータが引き継がれます。

ただし、ファームウェアのバージョンアップに伴って、追加または削除された機能は次のようになります。

- 追加された機能：設定パラメータは工場出荷時状態に設定されます
- 削除された機能：設定パラメータは引き継がれません

#### ■ release0441 より前のバージョン

IP アドレス、サブネットマスクおよびデフォルトゲートウェイを除くすべての設定パラメータが工場出荷時状態に設定されます。

なお、release0423 以降のバージョンのファームウェアからバージョンアップする場合は、バージョンアップ作業の前に無線 LAN 設定パラメータをファイル形式で取得することで、バージョンアップ作業前の設定を保存しておくことが可能です（暗号化キーは除きます）。詳しくは「JRL-710/720 シリーズ ユーザーズマニュアル」を参照してください。

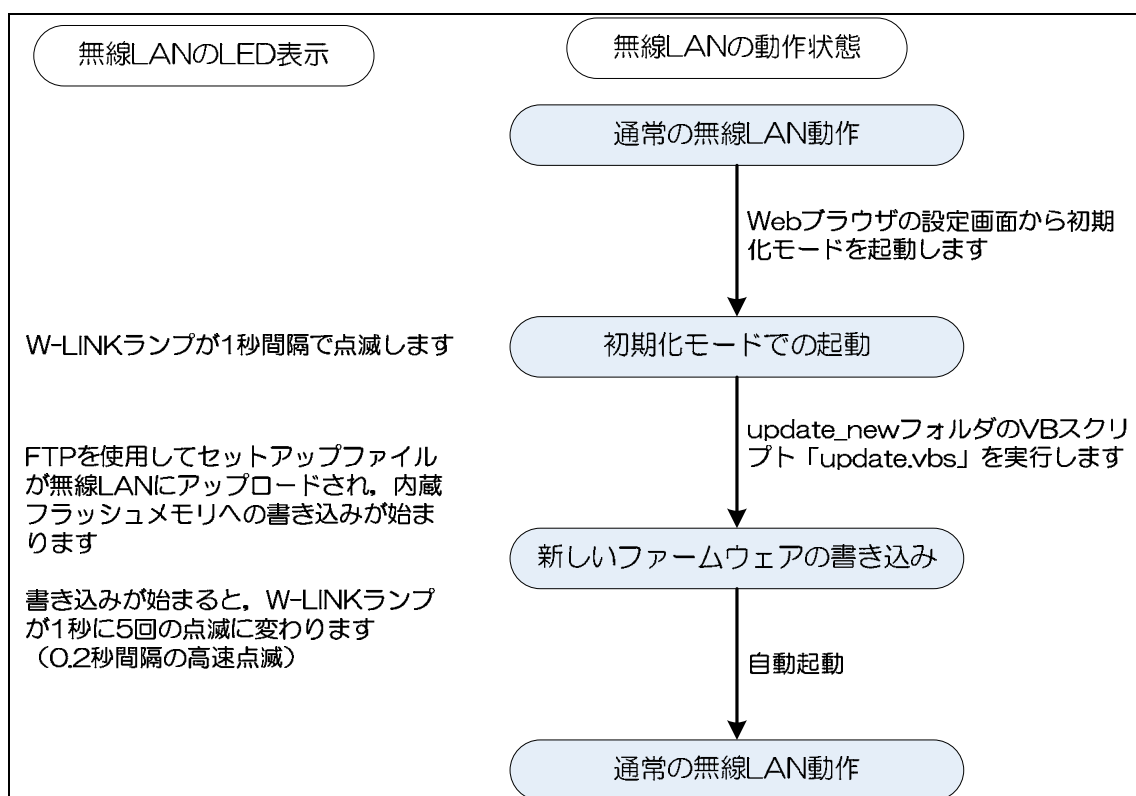


図 5 バージョンアップの流れ

初期化モードとは、ファームウェアをバージョンアップするための専用動作モードです。このモードでは、無線 LAN の「W-LINK」ランプが 1 秒間隔で低速点滅（赤色）します。

**[注意]**

バージョンアップ中は、無線 LAN の電源を切るなどの操作を絶対にしないでください。ファームウェアの書き込み中に電源を切ると無線 LAN が故障し、動作しなくなる恐れがあります。

## 2.1. 【手順 1】

現在動作しているファームウェアバージョンを確認する手順です。

WEB ブラウザを立ち上げて無線 LAN にアクセスします。無線 LAN の IP アドレスが「192.168.1.1」※の場合、WEB ブラウザのアドレス入力欄に「http://192.168.1.1」と入力すると、無線 LAN と接続されてログインウィンドウが開きます。

WEB ブラウザに一時ファイルが残っている場合は、2回目以降のログイン時にログインウィンドウを表示せずに次の段階に進むことがあります。

※「192.168.1.1」は無線 LAN のデフォルト IP アドレスです。IP アドレスを変更している場合は、適宜読みかえてください。

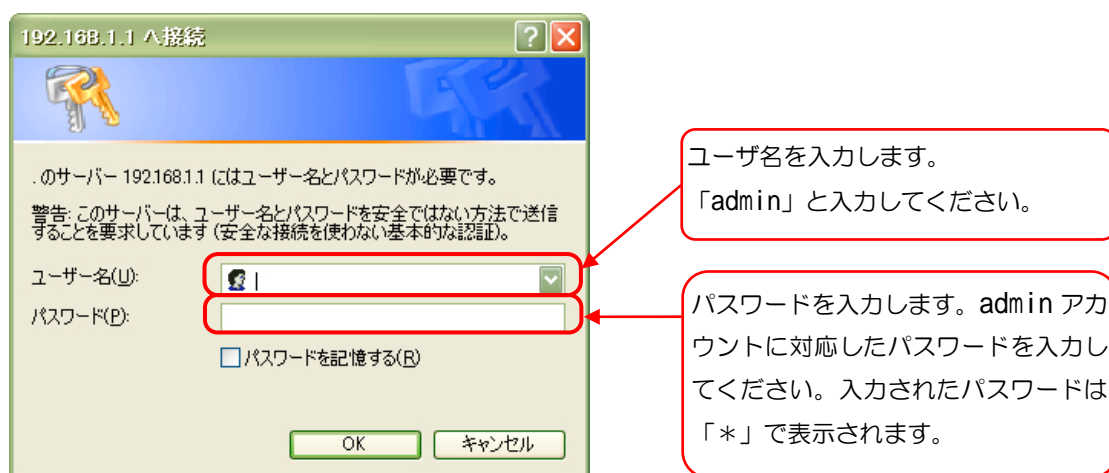


図 6 ログインウィンドウ

### 【備考】

WEB ブラウザは、Internet Explorer 6.0/7.0 にて動作を確認しています。他の WEB ブラウザでは表示および動作が異なる場合があります。



ログインが成功すると、図 7 のような画面が表示されます。図 7 の赤枠部分に、現在動作中のファームウェアバージョン番号が表示されます。

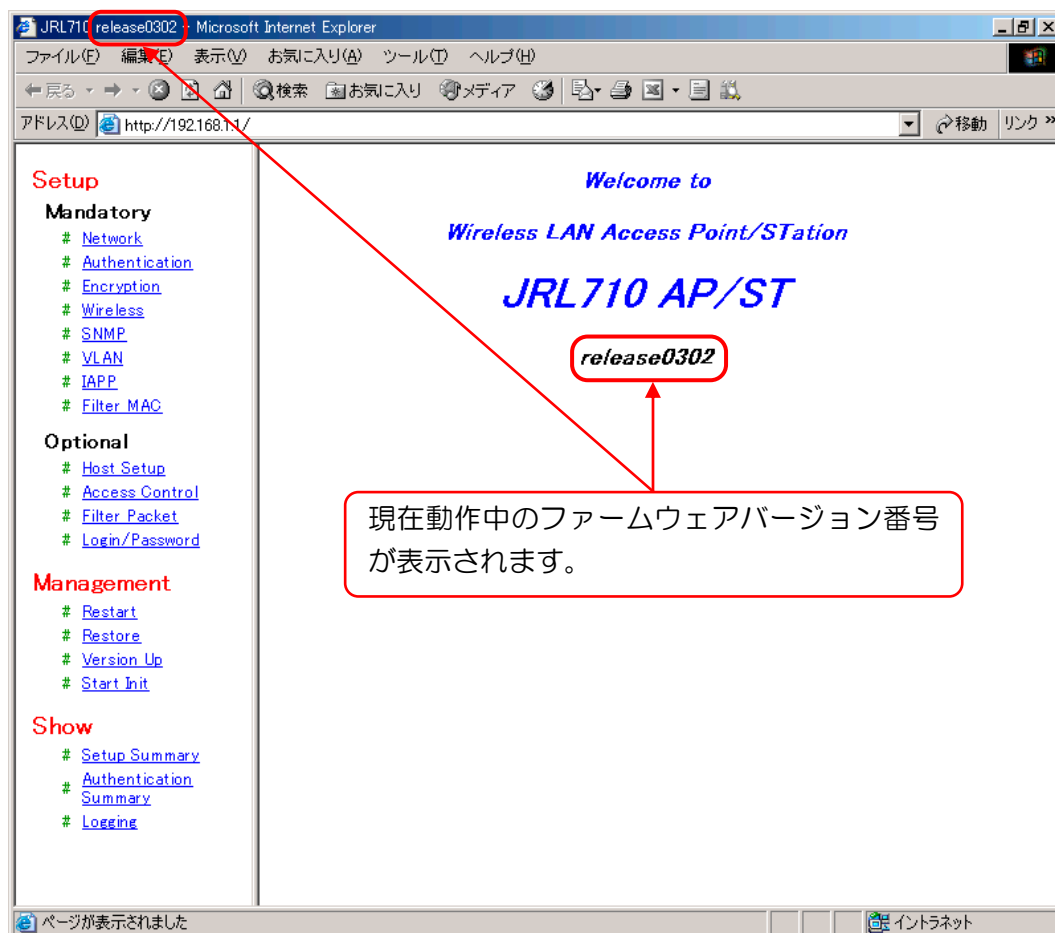


図 7 WEB ブラウザでログインした直後の画面

### [注意]

バージョンアップする対象の無線 LAN で既に動作しているファームウェアが release0302 より前のバージョンの場合、「JRL-710/720 バージョンアップマニュアル 第1版」の手順に従ってください。

## 2.2. 【手順2】

初期化モードのソフトウェアを起動する手順です。

WEB ブラウザの設定画面から無線 LAN を初期化モードで再起動させます。（再起動には、約 30 秒程かかります。）

図 8 の赤枠で示した文字列「Start\_Init」をクリックすると、初期化モード起動画面に切り替わります。

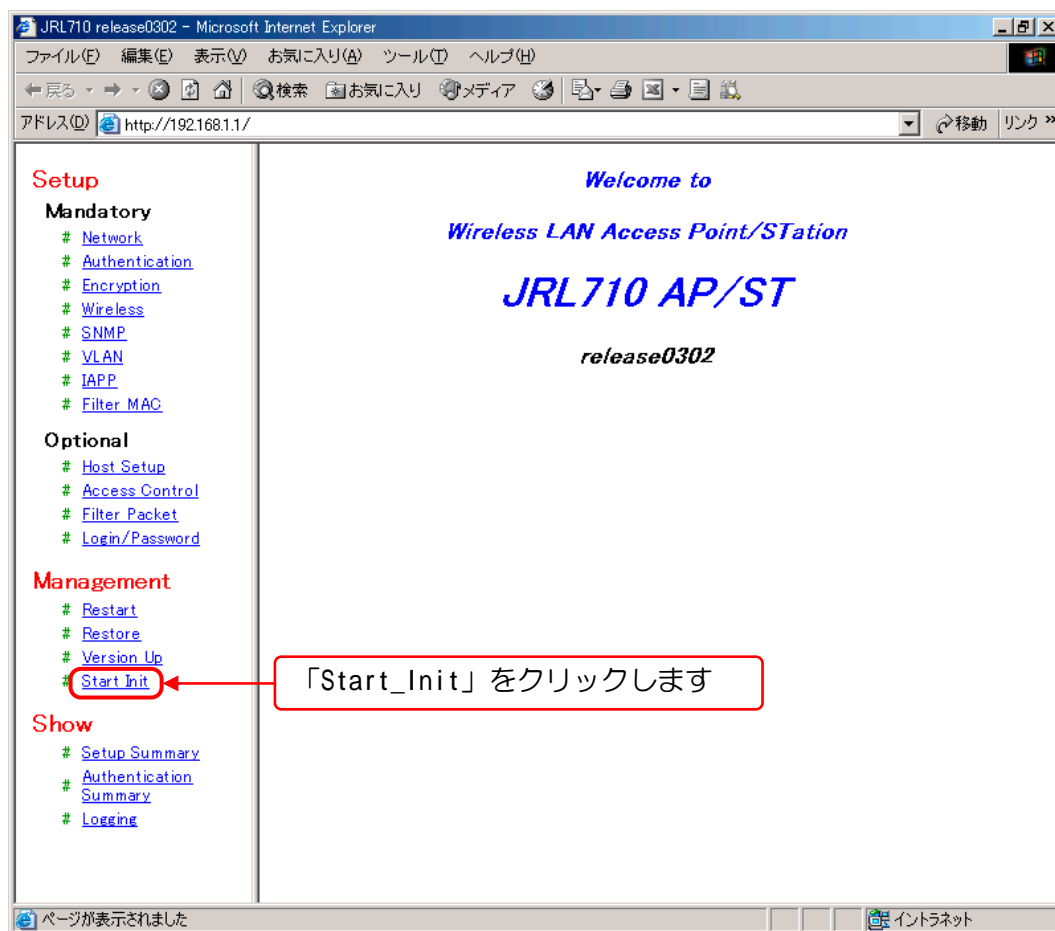


図 8 初期化モード起動画面の呼び出し

図 9 の初期化モード起動画面に示した赤枠部分のボタンをクリックします。

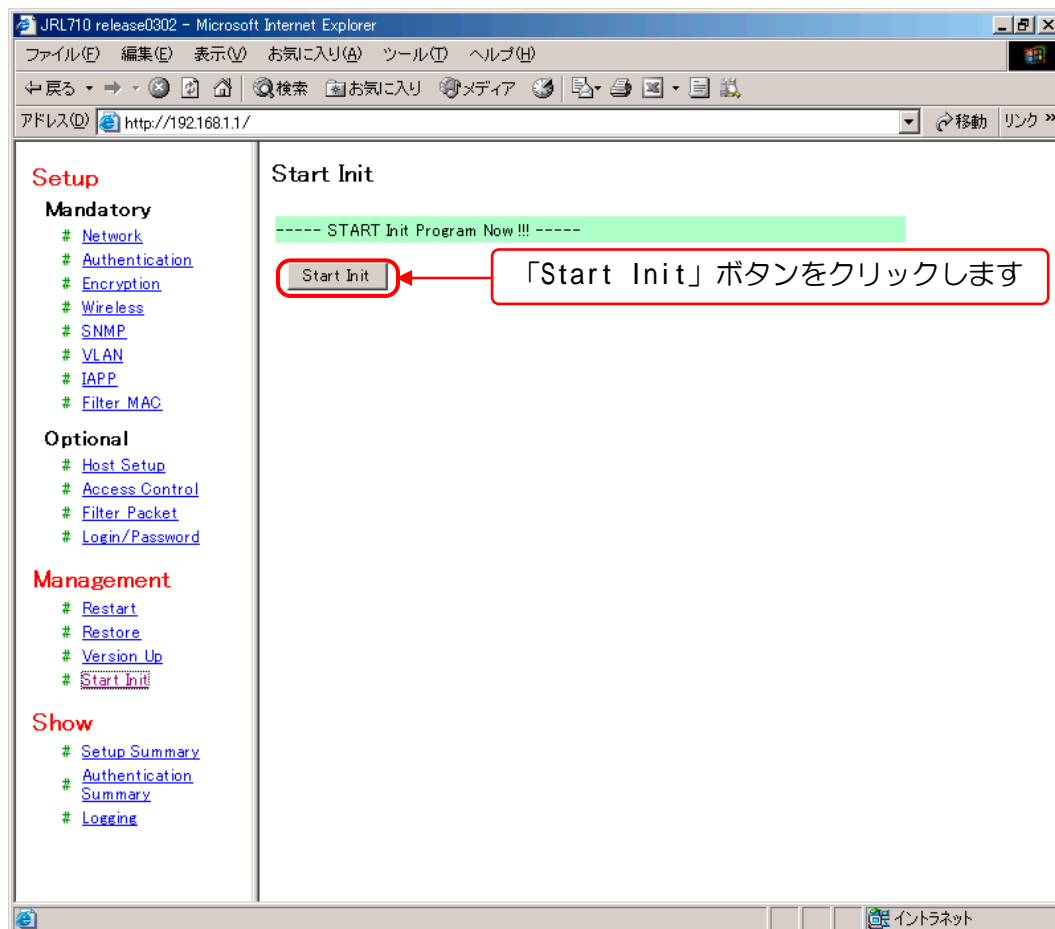


図 9 Start Init 画面

確認用ダイアログ（図 10）が表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。

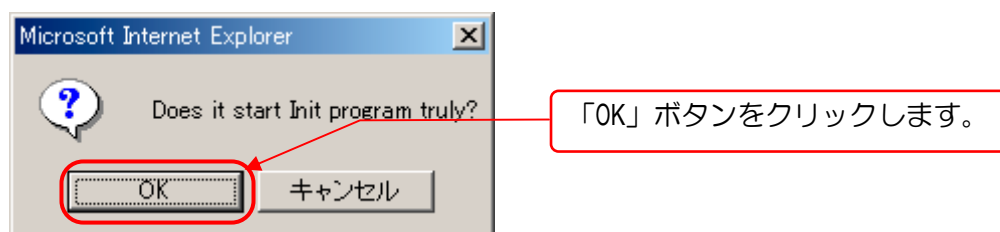


図 10 確認用ダイアログ

確認用ダイアログで「OK」ボタンをクリックすると、図 11 のような表示となり、無線 LAN のファームウェアが初期化モードで再起動します（再起動には、約 30 秒程かかります）。

## ファームウェアバージョンアップマニュアル

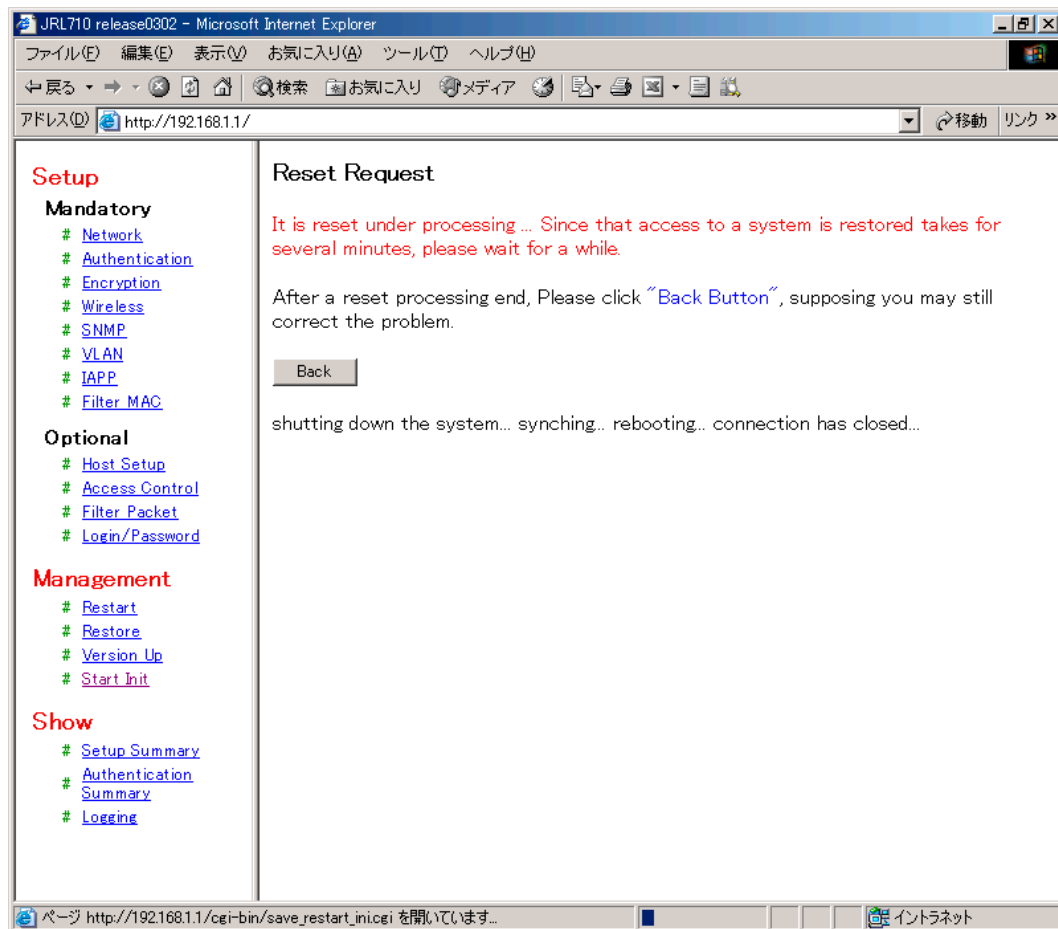


図 11 再起動画面

初期化モードが起動すると、無線 LAN の「W-LINK」ランプが 1 秒間隔で低速点滅（赤色）します。

### 2.3. 【手順3】

新しいファームウェアを書き込む手順です。ここまでの手順により、無線 LAN が初期化モードで起動しています。（無線 LAN の「W-LINK」ランプが 1 秒間隔で低速点滅していることを確認してください）

#### 【注意】

初期化モードで起動していない場合は、以降の手順に進まずに、もう一度【手順1】から作業をやり直してください。初期化モードが起動しない場合は IP アドレスを間違えていないか、IP アドレスが競合し、同じ IP アドレスの他の無線 LAN に対して操作していないかなどを確認してください。

作業用 PC 上でマイコンピュータやエクスプローラーなどを用いて、update\_new フォルダを開き、「update.vbs」を実行してください。

※「update.vbs」は VB スクリプトです。作業用 PC が VB スクリプトを実行可能な状態である必要があります。

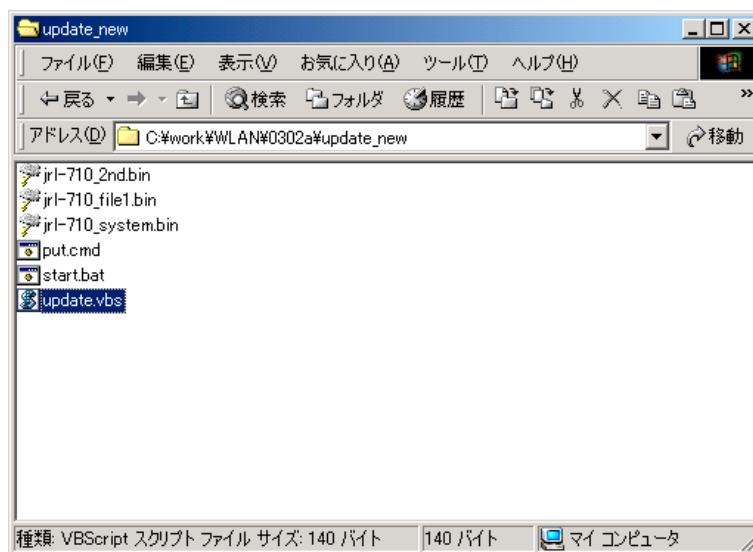


図 12 update\_new フォルダ画面

表示されたダイアログに無線 LAN の IP アドレスを入力し、「OK」ボタンを押してください。

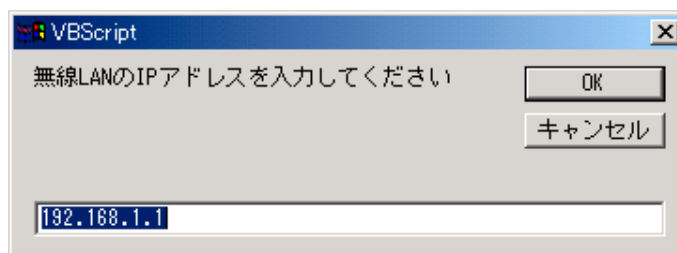


図 13 update.vbs 実行画面

## ファームウェアバージョンアップマニュアル

自動的にセットアップファイルの転送およびバージョンアップが行われます。

バージョンアップ中は、無線 LAN の「W-LINK」ランプが 0.2 秒間隔で高速点滅（赤色）します。（バージョンアップ完了まで、約 4 分程かかります。）

バージョンアップ完了後、自動的に新しいファームウェアで再起動します。（再起動には、約 30 秒程かかります。無線 LAN の「W-LINK」ランプの点滅は終了します。）

最後に【手順 1】の操作で、無線 LAN の IP アドレスに対して WEB ブラウザでアクセスして、新しいファームウェアにバージョンアップされたことを確認してください。

### 【バージョンアップに伴う設定パラメータの引き継ぎに関して】

#### ■ release0441 以降のバージョン

すべての設定パラメータが引き継がれます。

ただし、ファームウェアのバージョンアップに伴って、追加または削除された機能は次のようになります。

- 追加された機能：設定パラメータは工場出荷時状態に設定されます
- 削除された機能：設定パラメータは引き継がれません

#### ■ release0441 より前のバージョン

IP アドレス、サブネットマスクおよびデフォルトゲートウェイを除くすべての設定パラメータが工場出荷時状態に設定されます。

なお、release0423 以降のバージョンのファームウェアからバージョンアップする場合は、バージョンアップ作業の前に無線 LAN 設定パラメータをファイル形式で取得することで、バージョンアップ作業前の設定を保存しておくことが可能です（暗号化キーは除きます）。詳しくは「JRL-710/720 シリーズ ユーザーズマニュアル」を参照してください。

### 【注意】

バージョンアップ中は、無線 LAN の電源を切るなどの操作を絶対にしないでください。ファームウェアの書き込み中に電源を切ると無線 LAN が故障し、動作しなくなる恐れがあります。



<http://www.jrc.co.jp>

（無断複製・転載を禁ずる）

本書は森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

---

第 2.1 版 2009 年 3 月

編 者 日本無線株式会社

発行者 日本無線株式会社

〒181-8510 東京都三鷹市下連雀 5-1-1

通信機器事業本部カスタマーサービスグループ

E-mail : wlan-support@jrc.co.jp

TEL : 0422-45-9578 FAX : 0422-45-9104

---